

ウォーキングだより NO. 225

2024. 4 月

発行：スポーツ連盟三重 ウォーキングクラブ 発行責任者：井岡大義

○3月の例会報告

◇29日(金) 鈴鹿

【参加者】石川、和泉、一木、伊藤(孝)、伊藤(ま)、稲富、井岡(智)、井岡(大)、岡田、川北、清水、仲、西村、新田、浜口(和)、浜口(安)、林、春木、別所、山岡 外) 寺岡 計 21 名

【コース】JR 加佐登駅—石薬師—里塚—石薬師寺—佐々木信綱記念館—加佐登神社—白鳥塚古墳—荒神山観音寺—荒神山観音寺

鈴鹿・花と歴史の遊歩道を歩きました。9:45 加佐登駅に集合。プラチナ組の 5 名は車を利用して付かず離れず、お陰で大助かりの事もありました。田の中の小道を賑やかに進み、石薬師—里塚を經由して 10:21 石薬師寺へ。賽銭を入れると鈴の音が聞こえる賽銭入れに 1 円玉を入れて音を確認、不信心ごめんなさい。街道の随所に書かれた佐々木信綱の歌を確認しながら進み、10:51 佐々木信綱記念館に。係りの人の説明を聞き、隣りの信綱の生家も見学しました。ウォークの中で少し学識を高めることができました。黒雲が広がり少し心配しましたが、歩いているうちに青空が広がり汗ばむほどでした。11:51 加佐登神社に到着。満開近くのエドヒガン桜が迎えてくれました。神社裏手の白鳥塚古墳を覗いてから 12:32 フラワーパークに到着。先に到着のプラチナ組と合流して、ここで昼食に。食後、広



加佐登神社

いフラワーパークを横切り 13:26 荒神山観音寺に到着。ここでは遙か昔の映画談議に花が咲きました。14:20 加佐登駅に無事帰着。約 11 キロの楽しいコースでしたが、花の時期に合えばもっと素敵なコースです。(井岡大義)



○4月の例会報告

◇5日(金) 万灯呂山

【参加者】石川、伊藤(孝)、井岡(智)、井岡(大)、岡田、辻岡、西村 計7名

【コース】山城多賀駅—龍王の滝—万灯呂山展望台—高神社—山城多賀駅

風も無く暖かく、時折り陽射しが射す絶好のウォーキング日和に万灯呂山を巡りました。随所で満開近くの桜が迎えてくれ、「こんな素敵なウォークに何故参加が少ないの？」という声が、なんとたったの7名でした。

10:21 山城多賀駅を出発。山城多賀フルーツラインの所から緩やかな登りの山道に入ります。10:57 龍王の滝を見に下りました。龍王の滝は落差13mの直瀑で、かつては龍神をまつり「雨乞い」の神事が行われたとのことですが、眺望としてはあと一つでした。11:11 登山口に到着。本格的な登りとなりヒ



万灯呂山展望台

ーヒー喘ぎながら登るメンバーも。なんとか11:38 万灯呂山頂上に到着。「万灯呂山展望台」は京都市内から関西文化学術研究都市を一望できる標高約300mの展望台で、「万灯呂」の名は、雨乞い神事で龍王滝から大峰へたいまつ行列が行われたことに由来します。東屋で昼食を摂り、元気を取り戻して下山開始。途中ワラビを見つけて収穫するメ

ンバーも。12:50 分岐点に到着し、来た道に戻り、13:12 高神社へ。元気な5名が、142段の階段をもとめせずに参拝に。高神社は和同4年(711)創立の古社で、本殿は慶長9年(1604)に建てられた三間社流造りの立派なものでした。13:30 無事山城多賀駅に帰着しました。天候と桜に恵まれた13,000歩でした。(井岡大義)



◇12日(金) 吉野山散策

【参加者】浅尾、飯田、伊藤(孝)、伊藤(ま)、井岡(智)、井岡(大)、川北、木村、竹上、仲、西村、新田、別所、藤崎、丸林、米倉(哲) 計16名

暑くなったり、寒くなったりして、定まらない最近の気候ですが、4月12日の金曜日、関西屈指の桜

の名所である吉野の桜を見に行ってきました。

この日に限っては天気も良く風も凩いでいて、日頃の行いがいいのか、絶好のウォーキング日和になりました。

電車の13名と車の3名の参加者16名が、10時過ぎに中千本にあるケーブル発着場で集合し、簡単な行程の説明や自己紹介の後、吉野の桜を堪能すべく元気に出発しました。少し歩くと早速に見えてきた黒門で、恒例のベッピンさんです。観光客はいますが、通行の支障にならない範囲で、遠慮することなく笑顔をつくります(笑)それから銅鳥居を通過して金峯山寺(蔵王堂)に進みます。金峯山寺の歴史ある大きな建物を見た後、吉野に来た人が必ず来るといって一目千本の吉水神社を訪れ改めて、吉野の素晴らしさを確認します。この後、歩いている途中に1年に1回の大事な行事である山桜の満開を御本尊に報告する金峯山寺の大名行列に遭遇し、感激しました。この歴史ある行列は壱千年の歴史を持つ金峯山寺の伝統法会で、奴行列を先頭に金峯山の鬼、お稚児さん、山伏、僧侶、そして行列の最後は管長が乗られた大名籠と続く10万石の格式を持った行列ということです。



この後、上千本の吉野水分(みまくり)神社を目指し、緩いけど長い上り坂で息を切らしつつ、適宜お茶休憩を挟みながら歩きます。この神社がまた素敵で、神社にあまり興味のない私ですが、さすがに建物の古さと重厚さに歴史が偲ばれて、思わず見入ってしまいました。続けて近くの景色のいい花矢倉展



望台に立ち寄った後、視界の開けた斜面で楽しみな、お昼を取りました。その後吉野山の深い谷を挟んだ反対側にある如意輪寺を経て吉野駅に向かいますが、この歩いていく途中の新緑のもみじの林が素晴らしく、皆さんの歓声が上がります。想定外の新緑に圧倒されながら歩いて行き、駅と駐車場に分岐する道で、電車組と車組に分かれ、それぞれ帰途につきました。ふり返ってみれば歩き始めから、約15キロ5時間の長い時間でしたが、吉野の桜と新緑のもみじ、

そして大名行列との遭遇や戻ってきた小さな忘れ物など、思い出に残る出来事が多かった、大満足の楽しいウォーキングでした。 (西村重成)

おまけ

しあわせは いつも じぶんのところが きめる (^ ^)

◇21日(日) 観音岳登山 雨のため中止

※登山予定のなかったプラチナ組の8名はベルファーム散策を楽しんだとのこと。

○5月の例会 集合場所・時間

◇6日(月・休) 美杉・山菜テンプラ プラチナ可

集合場所・時間：9:00 伊勢奥津駅 要おにぎり

恒例の山菜てんぷら例会です。車の乗り合わせで行きますが 8:59 奥津駅着の列車もあります。伊勢奥津駅から伊勢本街道を飼坂峠を越えて北畠神社まで約6キロ歩きます。途中山菜を収穫し、北畠神社横の東屋でテンプラにします。おにぎりは持参してください。テンプラ用の道具、材料、皿は運営委員会で準備します。

◇14日(火) 伊吹せんろみち

集合場所・時間：亀山発 8:03、関発 8:10 の関西線に乗ります 要弁当

柘植、草津、米原を経由して近江長岡駅に向かいます。伊吹山を眺めながら、廃線跡「伊吹せんろみち」を一部歩くアップダウンのない約12キロです。あまり見所は少ないコースですが、泉神社の湧水はボトルを持っていく価値があります。歩くのが苦手な人、近江長岡駅の一つ手前の醒ヶ井駅で降りて醒ヶ井を散策するのはいかがでしょうか。

◇19日(日) 東海ブロック交流ウォーク 尉ヶ峰 プラチナ可

集合場所・時間：JR名古屋駅ホーム 8:10分 要弁当

名古屋駅発 8:14 浜松行きに乗ります。新所原駅で天竜浜名湖線に乗り換え気賀駅へ向かい、気賀駅 10:10 集合です。津発 6:56、白子発 7:11 の近鉄急行がお勧めです。

今年度の東海ブロック交流ウォークは静岡・遠州ウォーキングクラブ担当で尉ヶ峰を歩く9キロです。尉ヶ峰は標高約400mで浜名湖等、素晴らしい眺望が楽しめます。山登りが苦手な人には5キロコースがあります。しかも、こちらは国民宿舎でランチを食べられるとのこと。申し込みは9キロコースか5キロコースかを明記のこと、また準備の都合上15日までに申し込んでください。

◇27日(月) 岩村城 プラチナ可

集合場所・時間：恵那発 9:16 で飯羽間駅へ 要弁当

名古屋発 8:02 快速で恵那へ向かい、恵那から明智鉄道で飯羽間駅に向かいます。津発 6:43、白子発 6:55 の近鉄急行がお勧めです。

かつて女城主の時代があった日本三大山城の一つ岩村城を散策したのは10年前になります。今回は飯羽間駅から景観日本一の農村と言われる富田を巡って岩村城を目指す約10キロです。プラチナ組は岩村駅まで行きますが、名古屋駅発 8:34、恵那発 10:18 の列車でもいいのでは？

※オプションコース

◇24日(金) 京都トレイル(二ノ瀬―高尾)

2016年から2019年にかけて京都トレイルを歩きましたが、唯一残っていた二ノ瀬―高尾コースを歩きます。二ノ瀬からいくつも峠を越す約15キロの健脚コースです。少しハードなのでオプションコースとしました。亀山発6:02、関発6:09、柘植発6:37に乗ります。山科から京都市営東西線で三条京都へ行き、京阪で出町柳へ。更に叡山電鉄で二ノ瀬へ向かいます。

次回運営委員会

5月28日(火)(p.m.3時)

河芸井岡宅

